



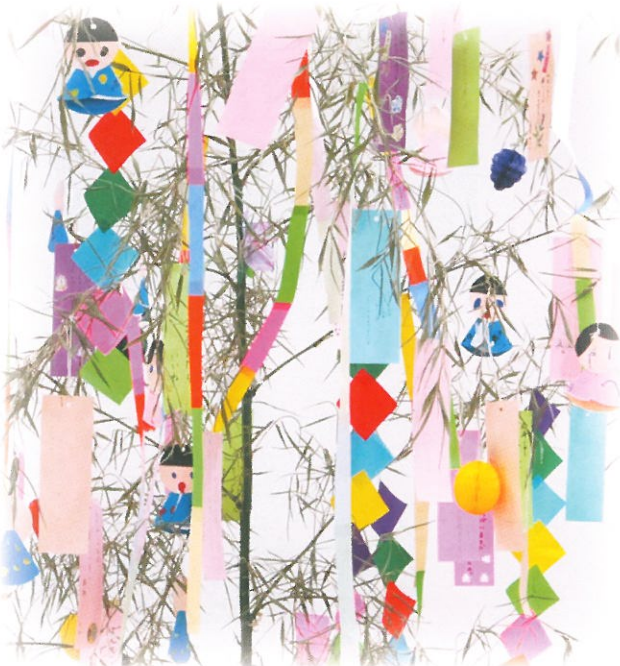
海と空 夏号

理念 「恕・和・誠」

恕の心 | 私たちは、つねに思いやりの心で療育します

和の心 | 私たちは、利用者、利用者家族、職員同士がつねに心をかよわせ、わきあいあいとした療育環境を作ります

誠の心 | 私たちは、つねに安全を考え、利用者に信頼していただけるよう誠実な心で接します



就任に向けて

医師 長岡 清

私はこの四月より縁あって当施設にお世話になって
います。以前は整形外科医として、高松の肢体不自由
児施設に勤務した事がありますが、ある時施設に入園
されている子供の父親と話す機会がありました。その
父親は脳性麻痺の『麻痺』という言葉が嫌でたまらな
いこと、またその中での様々な署名活動を通して一般
の人々の無関心、非協力的な態度を嘆いておられまし
た。まだ若かった私は「貴方のお子さんが生まれる前、
貴方自身がこうした活動に関心を持たれる事はあった
のですか？」と問うと「全くなかった」と話しておら
れました。その頃、私は「特に辛い悲しい出来事は当
人が直面し体験しなければ共感を得られない」と考え
たことを思い出します。その後、私自身もいろいろ体
験し、少しは考え方も変化しように思います。その
中で受容する手段として参考になったのが、精神科医
フランクルの言葉です。「自分では変えることのでき
ない出来事にその人がどのような態度を取るかによっ
て実現される価値」（彼はこれを態度価値と言ってい
ます）、また「逃げ場のない苦しみに対するその引き
受け方」について彼は「夜と霧」の中で記しています。
彼は悩み迷っている私にも悲しみの対象化、そして培
われた事象をいかに継続していくかについても語り応
援してくれている様です。

様々な思いを抱きながら、できる限り皆様と歩むべ
く頑張りますので、よろしくお願ひします。